

鏡川流域パートナーシップだより No.115 R6.2.13



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「まちのコインらうんじ」で鏡川流域内・外の人がつながる！

2月4日(日)、鏡川流域関係人口講座受講生が「**まちのコインらうんじ** (以下、『らうんじ』と記載)」を日曜市で開催しました！内容は、鏡川流域関係人口講座やまちのコイン「ぼっちり」の活動紹介、タケノコアヒージョの試食など盛りだくさん。これまで鏡川流域に関わってきた人も初めて出会う人も、気軽に立ち寄り交流できる、あたたかい場所ができました！



「らうんじ」は講座2期生が企画したもの。賛同した受講生たちと一緒にこれまで準備を進めてきました。

当日も、早朝から受講生同士で協力してテントや販売ブースを設営！

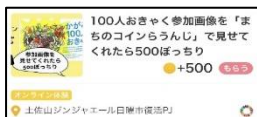
☞鏡川流域の特産品・土佐山ジンジャーエールを販売！試飲も大人気でした。



「らうんじ」には終始、多くの人が訪れて賑やかな雰囲気！講座1～3期生やその家族・友人、高知県外からの観光客などが集まり、**鏡川流域内・外の人**のつながりが深まりました。



講座3期生・藤澤佑介さんの企画「Feel 度 Walk」の参加者も集まり、「らうんじ」にオリジナルの作品を展示して盛り上がりました！☞



☞体験チケット利用者に「かがみかわフェスタ」オリジナルトートバッグをプレゼント！



☞2期生発案の「**タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト**」の名物、タケノコアヒージョを味わいながら、鏡川流域の自然を生かした企画のアイデアを楽しく話し合う場面も。



☞日曜市で竹製品などを販売する「よしむら農園」さんにも取組をご理解いただき、今後、放置竹林問題解決に向けて一緒に何かできそうです！

「らうんじ」や「タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト」を企画した大久保真希さん(講座2・3期生)からコメントをいただきました！

「かがみかわフェスタ」やまちのコインを通じて、**様々なつながりができたことを実感しています**。昨年度に引き続き受講した3期講座では、「かがみかわフェスタ」の「遊び」というテーマの中、タケノコを食べることを絡めたイベントを何度も企画する中で、**新たな気づきや仲間を得ることができました**。**自分の好きなことやできることを課題と結びつけ、動き続けると、このような形になるんだとびっくりしています**。

「まちのコインらうんじ」は**鏡川流域パートナーシップを体現できる場所**だと感じています。今後もこの活動を知ってもらえるよう続けていきたいです。



街路市係のご協力もあり、充実した出店になりました。今後も日曜市での出店を検討中！鏡川流域関係人口の取組がさらに広がる予定です！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android